

東京大学 海外留学・国際交流プログラム報告書(3ヶ月以上1年未満)

2016年 1月 9日

東京大学での所属学部・研究科等:	法学部	学年(プログラム開始時):	学部4
参加プログラム:	全学交換留学	派遣先大学:	香港大学
卒業・修了後の就職(希望)先:			
<input type="checkbox"/> 1.研究職 <input type="checkbox"/> 2.専門職(医師・法曹・会計士等) <input type="checkbox"/> 3.公務員 <input type="checkbox"/> 4.非営利団体 <input type="checkbox"/> 5.民間企業(業界:ガス) <input type="checkbox"/> 6.起業 <input type="checkbox"/> 7.その他()			
派遣先大学の概要			
<p>全ての授業が英語で行われるアジア地域の国際色豊かな上位校。欧米系、メインランドチャイナ、香港人、インド人が入り乱れて学び、素晴らしい交友関係が築ける。自治の意識が学生の間で強く、政府や大学に対する学生運動(危険な面はありません)や寮の仲間との活動が非常に盛んである。</p>			
留学した動機			
<p>アメリカに一年留学した後、働く可能性の大きいアジア圏での留学も経験しておきたいという動機で留学を考えた。英語の継続、中国語の向上に加え法律以外の知識も社会人になる前につけておきたいと考え留学を決めた。</p>			
留学の時期など			
①留学前の本学での修学状況:	2015年	学部4	年生の S2 学期まで履修
②留学中の学	留学		
③留学期間等:	2015年	9月～	2016年 1月
	学部4	年時に出発	
④留学後の授業履修:	2016年	学部4	年生の A2 学期から履修開始
⑤就職活動の時期:	2015年	学部4	年生の 7月頃に 行った
⑥本学での単位数:	留学前の取得単位		179 単位
	留学先で取得し、本学で単位認定申請を行う単位		0 単位
	留学後の取得(予定)単位		179 単位
⑦入字・卒業/修了(予定)時期:	2011年	4月入学	2016年 3月卒業/修了
⑧本字入字から卒業/修了までの期間:	5年		ヶ月間
⑨留学時期を決めた理由:			
<p>単位を必要以上に切り取り、内定も取り、卒業論文もない中何が出来るか考えた時に思い当たったのが留学だった。勉強して日々を過ごしていればいい日本国内での生活と違い、海外では毎日何が出来るかを考え活動をする必要があり社会人になる前に自らを鍛える必要があると感じていた。</p>			
留学の準備			
①留学先大学への入学手続き(手続きにあたってのアドバイスなど)			
<p>交換留学が決まった後は競争率の高い寮の手続きなど雑多なメールが数多く来るので忘れずにチェックすること。授業のシラバスが見れる時期は若干遅いが、連絡はしっかり来る大学なので問題はない。</p>			
②ビザの手続き(ビザの種類、申請先、手続きに要した時間、ビザ申請にあたってのアドバイスなど)			

ビザはCEDARSという機関にパスポートと費用を送付するだけで一通りの手続きをやってくれるため簡単である。

③医療関係の準備(出発前の健康診断、常備薬、予防接種等)

特にやっていない。日本愛好国家の香港では日本の薬も薬局で簡単に手に入る。

④保険関係の準備(加入した海外旅行傷害保険・留学保険等)

交換留学生用の海外付帯留学保険。私費で入る保険よりも圧倒的に安く驚いた。

⑤留学にあたって東京大学の所属学部・研究科(教育部)で行った手続きなど(履修・単位・試験・論文提出等に関して)

法学部の教授と面接後、手続き書類を提出

⑥語学関係の準備(出発前の語学レベル・語学学習等)

TOEFL99, TOEIC940

⑦日本から持参した方がよいもの、その他出発前にやっておくべきこと・アドバイスなど

香港大の授業と町中では中国語の普通語は使われない。簡単な広東語を身につけておくと生活と交友関係の面で重宝する。

学習・研究について

①履修した授業科目のリスト(授業を履修した場合)
※そのうち、帰国後東京大学で単位認定の申請を行ったもの(又は行う予定のもの)に●をつけてください。

授業科目名	単位認定の申請	授業科目名	単位認定の申請
Negotiation		Non credit Chinese	
Introduction to Accounting			
Business Environment in China			
Chinese as a Foreign Language IV			
Energy			

②留学中の学習・研究の概要(授業・予習・復習のスタイル、印象に残っている授業等)

授業は20人以内の少人数授業が多く、アメリカと同じく常に発言が推奨される。予習量はそこまで多くないがグループでのプレゼンテーションが多いため英語が下手であろうと何であろうと貢献が求められる。英語がほとんどの学生にとって第二言語であるため議論のスピードは米国に比べ緩やかである。

③1学期あたりの履修科目・単位数、週あたりの学習・研究時間(授業時間・授業以外の学習時間)など

Accounting(会計)は前提知識がなかったので重い教科書を読むのに苦勞し専門用語を覚えるのに時間がかかったため週に7時間は勉強が必要であった。China Business Environment は時間をかなり必要とした。グループプレゼンテーションは35分間の内容。個人レポート半月ほど毎日文献の調査とインタビューに追われた。Negotiationは授業内での瞬発力が重要で予復習はあまり必要なかった。
④学習・研究面でのアドバイス
アメリカに比べ求められるプレゼンの水準、レポートのクオリティ、議論の深さとスピードは緩い。裏返せば東大生として積極的にリーダーシップを取れるチャンスなので「自分がやる！」という力強さが求められる。
⑤語学面での苦勞・アドバイス等
広東語で話されるとついていけない。英語で話すように促すのみである。
生活について
①宿泊先(種類(寮・ホームステイ・ルームシェア等)、家賃、宿舎の様子、見つけた方法など)
CEDARSという香港大の機関が手続きをしてくれるが寮は抽選なので外れた場合自分で探さねばならない。値段が高く狭いのが香港の残念な住宅事情である。
②生活環境(気候、大学周辺の様子、交通機関、食事、お金の管理方法(海外送金・クレジットカード)など)
気候は暑い。11月でも半袖短パンである。交通機関はかなり整備されている。食事は中国と思ってはならない。日本より高いか同じくらいの値段がかかる。国際プリペイドカードのマネパカードを使っていたが中国本土でも使える新生銀行をお勧めする。
③危機管理関係(留学先の治安、医療機関の事情、心身の健康管理で気をつけた点など)
治安は最高に良い。病院は未使用。中国本土やインドと違い腹を壊すこともめったにない。
④留学に要した費用について(航空賃、授業料、教科書代、家賃、食費、交通費、娯楽費などの概算)
・毎月の生活費とその内訳
航空費4万、授業料0円、教科書1万円、家賃月4万円、食費一日1000~1500円、交通費1日200円、娯楽費20万円(アジア各地に旅行で行くのが香港大留学の醍醐味である)
・留学に要した費用総額とその内訳
100万円前後
⑤奨学金(受給していた場合は、支給機関・支給額・見つけた方法など)
長島雅則奨学基金 月7万円
⑥学習・研究以外の活動(スポーツ・文化活動、ボランティア・インターン、週末や長期休暇の過ごし方など)
毎週のハイキング、サッカー、香港日本商工会議所インターン、格安中国旅行、台湾旅行

派遣先大学の環境について
①留学生へのサポート体制(語学面・学習面・生活面・精神面でのサポート等)
現地人との交流の機会を数多く設けてもらえる素晴らしい大学である
②大学の設備(図書館・スポーツ施設・食堂・PC環境等)
昔ながらの普通の図書館、最新鋭の自習室、整ったジム、美味しくもまずくもない食堂、常に込み合うPC
留学と就職活動について
①(就職活動を既に行った場合)留学が就職活動に与えた影響、メリット・デメリットなど
今後海外で働くうえで必要となる外国人に負けずに議論をリードする力を身につけた。商工会議所でのインターンで海外で働く多くの日本人のお話を伺えた。
②(今後就職活動を行う場合)留学が就職に対する考え方に与えた影響
③留学中の就職活動への対策など(もしあれば)
④就職が決まっている場合は、差し支えない範囲で就職先をお知らせください
()1.研究職 ()2.専門職(法曹・医師・会計士等)(職名:) ()3.公的機関(機関名:)
留学を振り返って
①留学の意義、留学を通じて成長したこと、その他留学を通じての所感
英語を使ってもグループをリードできる力がついたこと。香港の女性が恋愛にまったく興味がなかった自分を根底から変えてくれたこと
②留学後の予定
4月から就職
③今後留学を考えている学生へのメッセージ・アドバイス

勉強、課外活動、交友関係全て★5と胸を張って言えるのが香港大です。

その他

①準備段階や留学中に役に立ったウェブサイト・出版物

旅行用ガイドブック。先輩の香港大学交換留学生

②その他東京大学のホームページ・出版物等に掲載してよい留学中の写真があれば添付してください。

寮のメンツと

週末のハイキング



東京大学 海外留学・国際交流プログラム報告書(3ヶ月以上1年未満)

2016年 6月 7日

東京大学での所属学部・研究科等:	経済学部	学年(プログラム開始時):	学部3
参加プログラム:	全学交換留学	派遣先大学:	香港大学
卒業・修了後の就職(希望)先:			
<input type="checkbox"/> 1.研究職 <input type="checkbox"/> 2.専門職(医師・法曹・会計士等) <input type="checkbox"/> 3.公務員 <input type="checkbox"/> 4.非営利団体 <input checked="" type="checkbox"/> 5.民間企業(業界:) <input type="checkbox"/> 6.起業 <input type="checkbox"/> 7.その他()			

派遣先大学の概要

香港の国立総合大学の一つ。香港人以外にも、大陸中国や海外からの留学生、本科生が多く、授業は全て英語で行われる。学習設備が整っており、生徒は基本的に良く勉強する。寮もあるが、寮の希望者が多い場合は抽選となる。留学生は、履修単位の半分以上を自身が所属する学部からとれば、その他はどの学部の授業をとっても良く、自分の分野以外の事も興味にそって学べる。東大に比べて課題の量が多い。

留学した動機

留学は大学入学当初から考えており、今回香港という場所を選んだのは、中華圏への興味と香港中国間の政治的問題への興味からでした。

留学の時期など

①留学前の本学での修学状況:	2015年	学部3	年生の	S2	学期まで履修
②留学中の学籍:	留学				
③留学期間等:	2015年		9月~	2016年	5月
	学部3 年時に出発				
④留学後の授業履修:	2016年	学部4	年生の	S2	学期から履修開始
⑤就職活動の時期:	2017年	学部4	年生の		5月頃に
⑥本学での単位数:	留学前の取得単位		42	単位	
	留学先で取得し、本学で単位認定申請を行う単位		10~15	単位	
	留学後の取得(予定)単位			30 単位	
⑦入学・卒業/修了(予定)時期:	2013年		4月入学	2018年	3月卒業/修了
⑧本学入学から卒業/修了までの期間:			5年		ヶ月間
⑨留学時期を決めた理由:					
元々卒業は1年延ばすつもりであったので、就活の時期を考慮して学部3年での留学を決めた。					

留学の準備

①留学先大学への入学手続き(手続きにあたってのアドバイスなど)

メールをこまめに確認しよく読むこと。寮や授業選択など、抽選で決まるものもあるので、申し込み等の作業は早く済ませること。

②ビザの手続き(ビザの種類、申請先、手続きに要した時間、ビザ申請にあたってのアドバイスなど)

代金を支払えば香港大学が代行してくれるので、手間はかからなかった。

③医療関係の準備(出発前の健康診断、常備薬、予防接種等)

総合薬を持って行った。留学当初は体調を崩すことが多かったので大変役立った。

④保険関係の準備(加入した海外旅行傷害保険・留学保険等)

東京大学指定の保険に加入した。

⑤留学にあたって東京大学の所属学部・研究科(教育部)で行った手続きなど(履修・単位・試験・論文提出等に関して)

ゼミへの単位分割申請。

⑥語学関係の準備(出発前の語学レベル・語学学習等)

海外ドラマやニュースをよく見るようにしていた。留学後はリスニング力がスピーキング力の前に重要になるので、リスニングに力を入れるべき。

⑦日本から持参した方がよいもの、その他出発前にやっておくべきこと・アドバイスなど

香港は日本のものが多く置いてあるので、特に不自由は感じなかった。

学習・研究について

①履修した授業科目のリスト(授業を履修した場合)

※そのうち、帰国後東京大学で単位認定の申請を行ったもの(又は行う予定のもの)に●をつけてください。

授業科目名	単位数	単位認定の申請	授業科目名	単位数	単位認定の申請
Intermediate Macroeconomics	6	●	Foreign Trade and Investment in China	6	●
Derivatives	6	●	Contemporary Chinese Politics	6	●
China Business Environment	6	●	People, Propaganda and Profit: Understanding Media in China	6	●
Hong Kong: community and cultural policy in the global context	6	●	Chinese as Foreign Language V	6	
Chinese as Foreign Language VI	6				

②留学中の学習・研究の概要(授業・予習・復習のスタイル、印象に残っている授業等)
週2～3時間のレクチャーの他に、週1時間のチュートリアルという小人数講義があるので、そのチュートリアルを目安に復習と予習を行っていた。プレゼンやレポートなど課題が多い授業と、講義と試験が主な授業の二種類があるので、バランスを取りながら履修を組むのが良いと思う。
③1学期あたりの履修科目・単位数、週あたりの学習・研究時間(授業時間・授業以外の学習時間)など
1学期目は4科目、2学期目は5科目履修をした。授業以外では毎日最低2時間は勉強した。試験前や課題提出、プレゼンの直前は、勉強漬けだった。
④学習・研究面でのアドバイス
⑤語学面での苦労・アドバイス等
留学開始直後は、リスニングに大変苦労をした。当り前のことだが英語とひとくくりにしても、国によって発音の仕方が微妙に違うので、その点苦労をした。また、自分の専門外の授業を取ると、知らない専門用語が山のように出てくるので、リーディングをこなすのが大変だった。
①宿泊先(種類(寮・ホームステイ・ルームシェア等)、家賃、宿舎の様子、見つけた方法など)
一学期目は寮の抽選に落ちてしまったため、香港大学が提供しているシェアハウスに住んでいた。部屋は二人部屋で6人でキッチンやシャワールームを共有していた。家賃が高く部屋も狭かったが、各国から来た留学生との共同生活は楽しかった。二学期目は大学寮に入ったため、1学期目よりも快適に過ごせた。香港は家賃が非常に高いため、大学寮に入ることをお勧めする。
②生活環境(気候、大学周辺の様子、交通機関、食事、お金の管理方法(海外送金・クレジットカード)など)
一年中湿度が高く、カビがすぐに生える。大学は香港の中心から電車で10分ほどの所にありとても立地がよい。香港は外食の文化が日本よりも強いので、私も食事はほとんど外食をしていた。お金は新生銀行の口座を使って管理した。新生銀行は香港のほとんどのATMで利用でき、日本で日本円で振り込まれたお金を香港で香港ドルで引き落とせる。
③危機管理関係(留学先の治安、医療機関の事情、心身の健康管理で気をつけた点など)
治安はよいが、スリや置き引きが多い。
④留学に要した費用について(航空賃、授業料、教科書代、家賃、食費、交通費、娯楽費などの概算)
・毎月の生活費とその内訳
物価は日本とほぼ同じなので、日本での生活費と変わらなかった。旅行の費用を除けば、月6～7万円で生活していた。
・留学に要した費用総額とその内訳
計約100万円(家賃合計35万円、食費30万円、大学関連非10万円、娯楽費25万円)
⑤奨学金(受給していた場合は、支給機関・支給額・見つけた方法など)

<p>JASOを通じて、Fung Scholarshipという香港の団体から月7万円を受給。東大を通じて申し込む。</p>
<p>⑥学習・研究以外の活動(スポーツ・文化活動、ボランティア・インターン、週末や長期休暇の過ごし方など)</p>
<p>寮の聖歌隊、日本人商工会議所でのインターン、日本スタディーツアーのお手伝い、中国旅行</p>
<p>派遣先大学の環境について</p>
<p>①留学生へのサポート体制(語学面・学習面・生活面・精神面でのサポート等)</p>
<p>サポート体制はよい。ほとんどの手続きがオンラインでできる。</p>
<p>②大学の設備(図書館・スポーツ施設・食堂・PC環境等)</p>
<p>充実した図書館と自習室がある。食堂も豊富。</p>
<p>留学と就職活動について</p>
<p>①(就職活動を既に行った場合)留学が就職活動に与えた影響、メリット・デメリットなど</p>
<p></p>
<p>②(今後就職活動を行う場合)留学が就職に対する考え方に与えた影響</p>
<p>海外展開に力を入れている企業への志望が強まった。海外で働きたいという思いが強まった。</p>
<p>③留学中の就職活動への対策など(もしあれば)</p>
<p>香港は日系企業が多いので、企業訪問を5社ほどおこなった。また東大卒で香港で働いている方にお話を伺ったりした。</p>
<p>④就職が決まっている場合は、差し支えない範囲で就職先をお知らせください</p>
<p>()1.研究職 ()2.専門職(法曹・医師・会計士等)(職名:) ()3.公的機関(機関名:) ()4.非営利団体(団体名又は分野:) ()5.民間企業(企業名又は業界:) ()6.起業(分野:) ()7.その他()</p>
<p>留学を振り返って</p>
<p>①留学の意義、留学を通じて成長したこと、その他留学を通じての所感</p>
<p>自分の置かれている環境が大きく変わる中で、自分自身を見つめる大きな機会にり、またそれが自信につながった。また、アジア人と一口に言えど様々な人たち、考え方、文化の違いがあることを肌で感じた。</p>
<p>②留学後の予定</p>

他の海外での短期プログラムに参加しながら、日本ではインターンシップを行い、民間企業への就職を考えている。

③ 今後留学を考えている学生へのメッセージ・アドバイス

香港は日本と程よい距離を持っており、アジアでも有数の国際都市なので、アジア、特に中国の文化圏に触れながら国際感覚を身に着けたい人には本当にお勧め。

その他

① 準備段階や留学中に役に立ったウェブサイト・出版物

香港大学に行かれた方の体験記やブログ。

② その他東京大学のホームページ・出版物等に掲載してよい留学中の写真があれば添付してください。

東京大学 海外留学・国際交流プログラム報告書(3ヶ月以上1年未満)

2016年 6月 24日

東京大学での所属学部・研究科等:	経済学部	学年(プログラム開始時):	学部3
参加プログラム:	全学交換留学	派遣先大学:	香港大学
卒業・修了後の就職(希望)先:			
()1.研究職 ()2.専門職(医師・法曹・会計士等) (<input checked="" type="checkbox"/>)3.公務員 ()4.非営利団体 (<input checked="" type="checkbox"/>)5.民間企業(業界:金融・商社) ()6.起業 ()7.その他()			

派遣先大学の概要					
香港大学は香港で最も歴史のある大学である。アジア圏であるがほとんどの授業は英語で行われている。学生の三分の一程度が中国本土からの留学生である。香港は中国共産党に対抗する政治運動(雨傘革命など)で有名であるが、多くの香港大学の学生が民主化運動にかかわっており、学内でもデモが行われることもあるなど、政治色の強い面もある。					
留学した動機					
香港は世界有数の金融センターである。私は金融に特に興味を持って学んでいるので、香港で香港の金融システムを学んだり金融業に携わる人にあたりすることは有意義な経験になると考えた。また、香港大学は上記の通り政治運動が盛んである。日本でも某学生団体による運動が盛り上がる中、あれほど大規模な行動を起こすほど国の未来を考えている学生と交流することで、彼らから得られるものがあるのではないかと考えた。					
留学の時期など					
①留学前の本学での修学状況:	2015年	学部3	年生の	S2	学期まで履修
②留学中の学籍:	留学				
③留学期間等:	2015年	9月~	2016年	5月	
	学部3	年時に出発			
④留学後の授業履修:	2016年	学部4	年生の	S2	学期から履修開始
⑤就職活動の時期:	2017年	学部5	年生の	6月頃に	行う予定
⑥本学での単位数:	留学前の取得単位			52	単位
	留学先で取得し、本学で単位認定申請を行う単位			不明	単位
	留学後の取得(予定)単位			不明	単位
⑦入学・卒業/修了(予定)時期:	2013年	4月入学	2018年	3月卒業/修了	
⑧本学入学から卒業/修了までの期間:	5年		0ヶ月間		
⑨留学時期を決めた理由:					
当時はシステム上、二年生参加申し込み、三年生参加がより早い時期での留学はできなかった。また、就職活動を考えると、四年生での参加は難しいと考えた。					

留学の準備
①留学先大学への入学手続き(手続きにあたってのアドバイスなど)
早めの書類提出を心がけましょう。特に入寮に関しては、留学生でもかなりの数が落選し、多くの留学生が宿が決まらないまま香港に来ます。PCの前で応募開始時間を待ち、開始したらすぐ申し込める体制を整えましょう。
②ビザの手続き(ビザの種類、申請先、手続きに要した時間、ビザ申請にあたってのアドバイスなど)
ビザは、希望すれば、大学側発行申請などを代行してくれるので、利用しましょう。書類などの不備の可能性が減ります。
③医療関係の準備(出発前の健康診断、常備薬、予防接種等)
予防接種は二か月くらい前に始めないと、ちゃんとやりきれなくなったりします。中国本土に旅行する機会もあるだろうことを念頭に、不安な人はいろいろ予防接種してもいいかもしれません。
④保険関係の準備(加入した海外旅行傷害保険・留学保険等)
学校指定の以外なにも使いませんでした。
⑤留学にあたって東京大学の所属学部・研究科(教育部)で行った手続きなど(履修・単位・試験・論文提出等に関して)
ゼミの単位分割申請を行いました。試験はS2まで普通に受けられたので、特に何もませんでした。
⑥語学関係の準備(出発前の語学レベル・語学学習等)
IELTS6.5 英検準一級、TOEIC 860くらいの、たぶん東大生の平均くらいでした。特にリスニングとスピーキングには不安がありました。東大内で英会話学校の授業が少し安めに受けられるプログラムがあったので、それに三か月くらい週一回参加していました。不安な人もいると思いますが、東大生なら行ってしまえば何とかかなりです。
⑦日本から持参した方がよいもの、その他出発前にやっておくべきこと・アドバイスなど
蚊の対策グッズが必須です。あとはSIMフリーのケータイを買っておくと香港で粗悪品をつかまされたりぼったくられることもないのでいいと思います。

学習・研究について					
①履修した授業科目のリスト(授業を履修した場合) ※そのうち、帰国後東京大学で単位認定の申請を行ったもの(又は行う予定のもの)に●をつけてください。					
授業科目名	単位数	単位認定の申請	授業科目名	単位数	単位認定の申請
Chinese as a foreign language 6	6		Intermediate Macroeconomics	6	
Chinese as a foreign language 7	6		Economic History of China	6	
Economic development of China	6	●	Introduction to Marketing	6	●
20th centurt business in Hong Kong	6				
International Macroeconomics	6	●			
②留学中の学習・研究の概要(授業・予習・復習のスタイル、印象に残っている授業等)					
経済系科目:講義+宿題解説のチュートリアル、経営系科目;授業+グループレポート&プレゼンテーション、中国語:授業二回。中国語は7以上は基本的に中国語で行われる。中国語はレベル分け試験があるが、頼めば上げてくれるので、できる限り高いレベルに行くのがいいと思う。					
③1学期あたりの履修科目・単位数、週あたりの学習・研究時間(授業時間・授業以外の学習時間)など					
一学期目は5科目、二学期目は3科目。一週間の学習時間は20~30時間。もう少し少なくともやっていると 思う。					
④学習・研究面でのアドバイス					
授業形式がなれないものでもとびこんでやってみてみましょう。結構他の人が助けてくれるので、どうにか なります。中国語はやるなら背伸びしててもいいと思います。					
⑤語学面での苦労・アドバイス等					
香港人が多いと広東語会話が繰り広げられるのが気にかかりました。英語はなまりがあって聞き取りづら いことが結構ありますが、慣れればどうにかなります。英語はなんとかできるので頑張ってください。					
生活について					
①宿泊先(種類(寮・ホームステイ・ルームシェア等)、家賃、宿舎の様子、見つけた方法など)					
学校の寮です。家賃は月二万強で、部屋は横2メートル奥行4メートルくらいに二人でした。学校サイトから申 し込みますが、なぜか香港人を一定数優先的に入れる規則があるので、結構な人がWaiting Listに入ります。 入ったら大学に文句のメールを送りまくってください。Waiting Listの順位がつくのですが、それをすっ飛 ばしてくれたりします。					
②生活環境(気候、大学周辺の様子、交通機関、食事、お金の管理方法(海外送金・クレジットカード)など)					
五月~十一月は結構暑いです。湿度も高いです。2015年度は異常な寒さでしたが、普通はそこまで厚手の コートは必要ないです。					
③危機管理関係(留学先の治安、医療機関の事情、心身の健康管理で気をつけた点など)					
医療機関は整っているので、心配ないでしょう。治安も落とし物は戻ってこないくらいで問題ないです。					
④留学に要した費用について(航空賃、授業料、教科書代、家賃、食費、交通費、娯楽費などの概算)					
・毎月の生活費とその内訳					

約9万円。内訳はよく覚えていません。遊ばなければ奨学金7万円で何とかになります。

・留学に要した費用総額とその内訳

旅行にたくさん行ったので、150～200万円くらい使ったかと思います。

⑤奨学金(受給していた場合は、支給機関・支給額・見つけた方法など)

Fung Scholarship 月額七万円

⑥学習・研究以外の活動(スポーツ・文化活動、ボランティア・インターン、週末や長期休暇の過ごし方など)

寮の卓球チーム、香港日本人商工会手伝い。まとまった休みがあれば中国を旅行。お金をもらう活動はビザ的に不可なのでできませんでした。

派遣先大学の環境について

①留学生へのサポート体制(語学面・学習面・生活面・精神面でのサポート等)

留学生にはバディという学生のサポーターが付きましたが、人によって世話をしてくれたりしてくれなかったり当たり外れが大きいです。学習面のサポートは特別にはないです。

②大学の設備(図書館・スポーツ施設・食堂・PC環境等)

図書館など勉強スペースは8時から23時まで空いています。試験前はほぼ24時間空くようになります。スポーツ施設は御殿下ほどでは無いですがしっかりしています。PC環境は困らない程度にはちゃんと整っています。

留学と就職活動について

①(就職活動を既に行った場合)留学が就職活動に与えた影響、メリット・デメリットなど

まだ就活していません。留学生用のイベントに参加できるのは、採用機会が増えていいかもしれません。

②(今後就職活動を行う場合)留学が就職に対する考え方に与えた影響
大きくは変わっていません。もちろん海外勤務に対する抵抗感はなくなりました。
③留学中の就職活動への対策など(もしあれば)
特にないです。
④就職が決まっている場合は、差し支えない範囲で就職先をお知らせください
()1.研究職 ()2.専門職(法曹・医師・会計士等)(職名:) ()3.公的機関(機関名:) ()4.非営利団体(団体名又は分野:) ()5.民間企業(企業名又は業界:) ()6.起業(分野:) ()7.その他()
留学を振り返って
①留学の意義、留学を通じて成長したこと、その他留学を通じての所感
成長とは違いますが、日本にはわからなかった香港と中国の関係、香港人や中国人の日本に対する考えを聞いたのはとてもよかったです。
②留学後の予定
一学年下と同じスケジュールで動きます。
③今後留学を考えている学生へのメッセージ・アドバイス
勿論海外への抵抗が減ったり日本ではなかなかできない経験をして非常に良かったです。特別視することもないです。少しでも行きたいなと思う気持ちがあるなら、とりあえず出してみたらいいと思います。
その他
①準備段階や留学中に役に立ったウェブサイト・出版物
特にないです

②その他東京大学のホームページ・出版物等に掲載してよい留学中の写真があれば添付してください。



東京大学 海外留学・国際交流プログラム報告書(3ヶ月以上1年未満)

2016年7月10日

東京大学での所属学部・研究科等:	教養学部	学年(プログラム開始時):	学部3
参加プログラム:	全学交換留学	派遣先大学:	香港大学
卒業・修了後の就職(希望)先:			
	1. 研究職		2. 専門職(医師・法曹・会計士等)
	3. 公務員		4. 非営利団体
	✓ 5. 民間企業(業界:)		6. 起業
	7. その他()		

派遣先大学の概要

香港大学は大都会香港の中心部に位置するアジアトップクラスの大学の一つです。香港や中国大陸のみならず世界各地から本科生、交換生共に数多く受け入れる国際色豊かな大学で、授業は語学を除きすべて英語で行われますがキャンパス内では様々な言語が飛び交います。2014年度の反中央政府デモに多くの人が参加するなど政治的な一面もあります。

留学した動機

英語と中国語の特に会話面を伸ばしたいと思っており、さらに自分の専門が地域研究の東アジア研究で香港の社会事情に興味があったため。

留学の時期など

①留学前の本学での修学状況:	2015年	学部3	年生の	夏	学期まで履修
②留学中の学籍:					
③留学期間等:	2015年	9月~	2015年	5月	
	学部3	年時に出発			
④留学後の授業履修:	2016年	学部4	年生の	冬	学期から履修開始
⑤就職活動の時期:	2017年	学部5	年生の	4月頃に	行う予定
⑥本学での単位数:	留学前の取得単位		46	単位	
	留学先で取得し、本学で単位認定申請を行う単位		16	単位	
	留学後の取得(予定)単位		22	単位	
⑦入学・卒業/修了(予定)時期:	2013年	4月入学	2018年	3月卒業/修了	
⑧本学入学から卒業/修了までの期間:	5年		ヶ月間		
⑨留学時期を決めた理由:					

卒業を一年延ばす前提で就職活動に影響がない時期に留学したかったため。

留学の準備
①留学先大学への入学手続き(手続きにあたってのアドバイスなど)
香港大学側から丁寧に指示があるのでそれに従えばよいと思います。資料が膨大ですが根気よく丁寧に読みましょう。
②ビザの手続き(ビザの種類、申請先、手続きに要した時間、ビザ申請にあたってのアドバイスなど)
学生ビザの手続きは香港大学の国際課(CEDARS)が500ドル(当時のレートで8000円)ほどで代行してくれます。2か月程度かかったと思います。
③医療関係の準備(出発前の健康診断、常備薬、予防接種等)
特になし
④保険関係の準備(加入した海外旅行傷害保険・留学保険等)
東大で加入必須の留学保険に入っていました。
⑤留学にあたって東京大学の所属学部・研究科(教育部)で行った手続きなど(履修・単位・試験・論文提出等に関して)
特になし
⑥語学関係の準備(出発前の語学レベル・語学学習等)
TOEFL87、HSK6級 日本にいるうちに中国語普通話もしくは広東語を勉強しておくのと良いと思います。大学外には中国語普通語は話せるが英語は話せない、という人が想像以上に多いです。
⑦日本から持参の方がよいもの、その他出発前にやっておくべきこと・アドバイスなど
虫刺されの薬は日本から持参するべきだと思いました。現地でも手に入りますがあまり効きません。日系スーパーや日本のチェーンレストランが多いので食品には困らないと思います。

学習・研究について

①履修した授業科目のリスト(授業を履修した場合)

※そのうち、帰国後東京大学で単位認定の申請を行ったもの(又は行う予定のもの)に●をつけてください。

授業科目名	単位数	単位認定の申請	授業科目名	単位数	単位認定の申請
Chinese as a foreign language 7	6	●	Globalizing China: the land and the people	6	●
Chinese as a foreign language 8	6	●	Cross-boundary movements and social integration	6	●
Transport and the society	6	●	Culture tourism in Hong Kong, Macau and South China	6	●
Hong Kong and the world	6	●			
Introduction to contemporary China	6	●			

②留学中の学習・研究の概要(授業・予習・復習のスタイル、印象に残っている授業等)

各科目週に1~2回あり頻繁に課題が課される授業もありました。専門科目に関しては基本は週に2時間のレクチャーと1時間の少人数でのディスカッションがあり、毎回発言を求められ予習が必須のもの、東大のように先生の授業を聴いているだけのもの等様々です。

③1学期あたりの履修科目・単位数、週あたりの学習・研究時間(授業時間・授業以外の学習時間)など

毎学期英語で開講の専門科目3科目と中国語を1科目履修していました。発表や中間テスト、レポートで勉強に迫られている週もあればほとんど勉強しなくてもよい週もありました。

④学習・研究面でのアドバイス

基本的に毎学期4~6科目履修することができ、東大の感覚では6科目でもかなり少なく思えますが実際にきちんとこなそうとすると一学期に4科目でも結構大変です。はじめはあまり授業をたくさん取り過ぎずに様子見した方がいいかもしれません。

⑤語学面での苦勞・アドバイス等

大学内では自分の英語力の無さに、大学外では地元の人々の英語力の無さに苦しみました。日本にいた時と同様コツコツ単語やリスニングの勉強をし、なるべく外国人の友人と関わることで英語は改善したと思います。大学外では中国語(普通話)でコミュニケーションをとるようにし、通じなければ筆談をすることもありました。

生活について

①宿泊先(種類(寮・ホームステイ・ルームシェア等)、家賃、宿舎の様子、見つけた方法など)

大学寮の1人部屋に住んでいました。各階に共用のトイレ、シャワー、キッチンとくつろげるスペースがあり、家賃は月3万円くらいでした。大学の国際課を通じてオンラインで申し込むのですが基本的に早い者勝ちなので申し込みが開始した瞬間すぐに応募するべきです。

②生活環境(気候、大学周辺の様子、交通機関、食事、お金の管理方法(海外送金・クレジットカード)など)

長くてとても蒸し暑い夏と思っていたよりは長くて厳しい冬、といった感想です。特に私が留学していた年は60年ぶりの寒波が来た年で最低気温が3度、暖房はないという環境だったので防寒具は必須でした。大学は香港中心部にあって地下鉄もあり非常に便利です。学校の食堂以外にも様々な値段の色々な種類のレストランがあり、自炊する人は多くありません。大体食堂が300~400円、外のレストランが500円~くらいでしょうか。銀行は新生銀行の口座を日本で作り現地ATMで引き出していました。

③危機管理関係(留学先の治安、医療機関の事情、心身の健康管理で気がつけた点など)

治安は良好ですが落とし物は返ってこないと思った方がいいです。大学内に無料の診療所があり、薬代も無料です。

④留学に要した費用について(航空賃、授業料、教科書代、家賃、食費、交通費、娯楽費などの概算)

・毎月の生活費とその内訳

1か月9～10万円(食費4万、通信費4,000円、交通費5000円、家賃3万円、雑費1～2万円)旅行費用含まず。

・留学に要した費用総額とその内訳

10か月で150万円ほど。旅行にかなり行ったのもっと節約することは可能です。

⑤奨学金(受給していた場合は、支給機関・支給額・見つけた方法など)

毎月7万円。東大経由で

⑥学習・研究以外の活動(スポーツ・文化活動、ボランティア・インターン、週末や長期休暇の過ごし方など)

大学のボートクラブ、香港の街歩き・ハイキング、中国・東南アジア旅行

派遣先大学の環境について

①留学生へのサポート体制(語学面・学習面・生活面・精神面でのサポート等)

相談する窓口はあったように思いますが利用したことがないので詳しくはわかりません。

②大学の設備(図書館・スポーツ施設・食堂・PC環境等)

図書館、自習室の環境は良くテスト前は24時間開館します。スポーツジムは無料のものが3か所あります。テニスやバドミントンのコートは予約が必要で有料です。大学施設内ではすべての場所でWIFIが使えます。

留学と就職活動について

①(就職活動を既に行った場合)留学が就職活動に与えた影響、メリット・デメリットなど

②(今後就職活動を行う場合)留学が就職に対する考え方に与えた影響

将来的に海外勤務をしてみたいという願望が強まりました。

③留学中の就職活動への対策など(もしあれば)

特になし

④就職が決まっている場合は、差し支えない範囲で就職先をお知らせください

- | | |
|--|--------------------------|
| | 1. 研究職 |
| | 2. 専門職(法曹・医師・会計士等)(職名:) |
| | 3. 公的機関(機関名:) |
| | 4. 非営利団体(団体名又は分野:) |
| | 5. 民間企業(企業名又は業界:) |
| | 6. 起業(分野:) |
| | 7. その他() |

留学を振り返って

①留学の意義、留学を通じて成長したこと、その他留学を通じての所感

長期の海外経験のない私が、普通に授業に出て普通に友達と遊んで普通にクラブ活動に参加して…という普通の大学生活を海外で楽しめるようになったのが一番の成長だと思います。また、日本や日本人のことを卑下することの多かった私ですが留学を通じて日本の環境、システム、文化の良さを再認識できるようになったと思います。

②留学後の予定

6月から8月まで香港大学主催のプログラムで上海でインターンをした後、帰国して4年生冬学期の授業を受ける予定です。

③今後留学を考えている学生へのメッセージ・アドバイス

留学前の不安は尽きませんが、案ずるより産むが易し、たいていのことは何とかなってしまいます。例えば私が留学関係で一番面倒だったのは留学前の書類準備で、留学中一番辛かったのは異常気象で冬が予想外にとっても寒かったこと、その程度でした。あまり深く考えすぎずに、外国で1年楽しんで来ようくらいの軽い気持ちで応募してみてくださいと思います。

その他

①準備段階や留学中に役に立ったウェブサイト・出版物

インターネット上の香港留学した人たちのブログ

②その他東京大学のホームページ・出版物等に掲載してよい留学中の写真があれば添付してください。



(6) Number of credits earned at UTokyo:	Number of credits earned before program:				23	credits
	Number of credits earned during the program which will be processed for transfer:				0	credits
	Number of (expected) credits after program:				23	credits
(7) Enrolled/ Expected timing of graduation:	Enrolled: (Month) (Year)	September	2014	Graduated/completed: (Month) (Year)	July	2017
(8) Time taken from enrollment to graduating/completion:		3 years		months		
(9) Reason for choosing period to study abroad:						
<p>This time period is suitable for me to get more research data while conducting fieldwork in Hong Kong and in Mainland China. At the same time, I could get supervision from the professors in HKU in order to improve my thesis design.</p>						
Preparation for the program						
(1) Application process (please give any advice on dealing with the application process)						
<p>Because the application starts around 3-5 months before the exchange program. So I recommend all the applicants get ready ahead of time and it is better to get some basic information about the university that you are interested in. If there are professors who are specialist in the research field that you want to explore more, you should contact that professor to see if you could get supervision from him/her.</p>						
(2) Visa application (type of visa, where to apply, processing time, any advice on visa application)						
<p>For the Mainland Chinese, if you plan to go back to Mainland after the exchange program ends, you should get the visa in Mainland China instead of getting visa in Japan. And it needs at least one week.</p>						
(3) Medical check-ups (health check-ups before departure, inoculations, etc.)						
<p>It is okay that you don't get inoculation.</p>						
(4) Insurance (information about insurance for travel/studying abroad purchased)						
<p>After you successfully get the admission from the exchange program, you could get the instruction from the Utokyo.</p>						
(5) Procedures required by your Faculty/Graduate School (any information about course registration, credits, exams, submission of dissertations etc)						
<p>The exchange program in HKU is well designed, so you could get proper instruction before and after your arrival. You could get instruction about the course registration, credits, exams, etc at the orientation which is especially designed for newly arrived non-local students.</p>						
(6) Language preparation (language level before the program, lessons etc.)						
<p>In Hong Kong, many people could speak English fluently. But if you want to experience the real local life, it is recommended to study some Cantonese before you start your exchange.</p>						
(7) Items which should be taken with you from Japan and any other advice on things which should be done before leaving Japan.						
<p>You could read some books about Hong Kong before you depart from Japan, so that you could get accustomed to the life in Hong Kong faster.</p>						

Information on the academic/research program					
(1) Copy of list of subjects taken (if classes were taken) ※ Please mark with ● all subjects which you are processing to transfer credits to the University of Tokyo					
subject	number of credits	credit transfer	subject	number of credits	credit transfer
(2) Outline of the program (Style of the lessons/preparation study/review study, thing which left an impression on you, etc.)					
It is seminar type of lesson. So you should read the material ahead of time and discuss with all your classmates.					
(3) Number of subjects/credits per semester, number of hours of study/research time in a week (including class hours and study out-of-class hours)					
1 seminar per week					
(4) Advice on aspects of academic/research work					
There are a variety of conference and lectures in HKU, so you should check the notice board in the campus so that you could get more information, or you also could receive the information using the HKU email system.					
(5) Problems experienced with language issues, advice concerning language, etc.					
Most of the classmates speak good English, so there is no worry if you don't know Cantonese.					
Aspects of life					
(1) Accommodation (Type (home-stay, room-sharing etc.), cost, atmosphere/appearance of accommodation, how you found it, etc.)					
room-share. (Residential Period) Unless otherwise specified, students who have accepted the residential membership are allowed to stay in the College until the end of the stipulated residential period, or the expiry date of student status as shown on the Student Card, or the official date of completion of studies as informed by the Faculty, You could choose the room type you want to live in.					
(2) Living environment (such as climate, environment around the institution, transport facilities, food, managing your money (overseas money transfer, credit cards))					
If you arrive at Hong Kong during winter, it is recommended to bring some sweaters since is rather cold outside.					
(3) Aspects of risk and safety management (safety of local region, condition of medical facilities, any action taken in maintaining your mental and physical health, etc.)					
There are no worries about the risk or safety programs					

(4) Details of expenses (breakdown of costs, such as airfare, program fees, cost of required books, rent, food, travel cost, money spent on entertainment)
• Monthly living cost and its breakdown
around HK \$3000-4000
• Total cost spent on studying abroad and its breakdown
around HK \$15000-20000
(5) Financial aid (if you were receiving financial aid/scholarships, please give the name of the source of the aid, amount, and how you found it, etc.)
Financial support from IHSprogram
(6) Activities other than academic/research work (sports, cultural, volunteer/internship, weekend activities, etc.)
There are many clubs in HKU, and if you join one of them, you could have more activities during weekend.
Environment of the receiving institution
(1) Support facilities for students taking part in the program (such as language, academic, living support mechanism and counseling services)
There are free Cantonese or Chinese class provided by HKU and there is a lounge for the foreign exchange students.
(2) Facilities (libraries, sports facilities, cafeteria, IT equipment and facilities, etc.)
There are main library and department libraries in the campus. Sports facilities like football, basketball, etc.
Studying abroad and job hunting
(1) (those that have job hunted) Impact that the your study abroad had on job hunting, merit and demerit
Because I could have internship opportunity, so it is really helpful for the following job hunting
(2) (those who will be starting job hunting) How the study abroad has impacted your thoughts towards employment
Many international organization has their branch in Hong Kong, you could get more familiar with a more globalized environemnt.
(3) Actions towards job hunting while studying abroad (if any)
find internhisp in HK

(4) If you have succeeded in finding a job, please inform us, if agreeable, as much as possible about your job

- | | |
|--|--|
| | 1. Research |
| | 2. Specialist (Medical · Judiciary · Accountant) (position:) |
| | 3. Civil Service (name of institution:) |
| | 4. NPO (name of organization and field:) |
| | 5. Private sector (name of company and industry:) |
| | 6. Entrepreneurship (field:) |
| | 7. Others () |

Looking back over the program

(1) The significance of the program and how you have developed by taking part in it, any other impression from having studied abroad

From the perspective of improving research ability, I am impressed by the students in Hong Kong. They are enthusiastic about their research field and eager to express themselves with others. The comments from the professors are also very inspiring. All these could influence your way of thinking and doing things in the future.

(2) Your plans having studied abroad

I will continue with the study in Utokyo and after graduation, I will also try to find internship in Tokyo

(3) Any messages or advice for future participants

During your stay in HK. You could have various encounters with people around the world, so don't hesitate to seize this precious opportunity.

Miscellaneous

(1) Websites or publications which were useful while preparing for or during your time overseas

(2) Please submit any photographs which may be used on the University of Tokyo websites or publications.